

当院で行っている検査

循環器に関するもの

心電図：心臓が動くときに発生する弱い電気信号を記録し、心臓の状態を検査します。

仰向けに寝て両手・両足・胸部に電極をつけて記録します。

負荷心電図：踏み台を昇降し、負荷をかけて心電図の変化を観察します。

ホルター心電図：日常生活中心電図を24時間記録し解析をします。

短時間では検出困難な一過性の不整脈や、波形の変化を調べることが出来ます。

血圧脈波検査（ABI）：両腕と両足首の血圧を計測し、動脈硬化の程度を調べます。

皮膚灌流圧検査（SPP）：皮膚表面の血流を調べる検査です。

主に足背足底にセンサーと血圧カフを装着し血流の流れを測定します。

神経系に関するもの

脳波：脳から発生する電気現象を、頭皮に装着した電極から記録します。

聴性脳幹反応（ABR）：音刺激によって発生する微弱な脳波を加算して得られる波形。

患者さんの意識や心理に左右されない聴力検査。脳死判定にも用いられる。

筋電図：筋肉から発生する電気現象を皮膚に置いた電極から記録します。

末梢神経を微弱な電気刺激して神経を伝わる速さや波形の大きさを調べます。

呼吸器に関するもの

肺機能検査：肺や気管支の状態を検査します。

鼻を押さえて、口にマウスピースをくわえ、口だけで呼吸をします。

検査技師の掛け声に合わせて、吸って、はいてを繰り返します。

超音波を使用するもの

超音波のことをエコーとも言います。人の耳に聞こえない超音波と呼ばれる音波を体の外側から当て、はね返ってきた反射波を映像化し、臓器の大きさや病態の有無を観察します。止まっているものだけでなく、動いているものや血液の流れなども観察できます。

心臓超音波検査：心臓の大きさや動き・弁の機能に異常がないかを調べます。

腹部超音波検査：肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓・脾臓・膀胱・腹部大動脈などを調べます。

血管超音波検査：頸動脈・四肢の動静脈などを調べます。

他に甲状腺・乳腺・体表病変などを調べることが出来ます。

その他 ピロリ菌検査（尿素呼気試験）や聴力検査などがあります。